

'94 神戸学院大学 Green Festival

Programme:

10月8日^(土) —15:00— 藤田 容子 ヴァイオリン・リサイタル

ピアノ:青木 紀子

ドイツの名門バンベルク交響楽団で4年間、ヨッフム、シュタイン、ロッホランなどの巨匠の下で首席を務め、現在はスイスを本拠に独奏やアンサンブルで活躍する実力者。ドイツを中心に室内楽などで活躍するピアニストと共に、ベートーヴェン「ソナタ第9番(クロイツェル)」、イザイ「無伴奏ソナタ第2番」、ブラームス「ソナタ第2番」という充実したプログラムを披露。楽器などについてのお話もさせていただきます。

10月12日^(水) —15:00— 長谷川 陽子と仲間たちによる弦のアンサンブル

ヴァイオリン:矢部 達哉 ヴィオラ:長谷川 弥生
チェロ:長谷川 陽子 チェロ:村井 将

日の出の勢いの若きチェリストが、姉夫妻のヴィオラとチェロ、東京都響コンサートマスターのヴァイオリンと共に、室内楽で3回目のフェスティバル登場。カサド「無伴奏チェロ組曲」、モーツァルト「ファゴットとチェロのためのソナタ」、ヒンデミット「ヴィオラとチェロのためのデュオ」、ベートーヴェン「弦楽三重奏のためのセレナード」、アレンスキー「弦楽四重奏曲第2番」という色とりどりの組み合わせによる絶妙のアンサンブルの醍醐味。

11月5日^(土) —15:00— 角 聖子 ピアノ・リサイタル

巨匠エディット・ピット=アクセンフェルト女史に師事し、古典から現代ものまで幅広くひきこなす才女。1991年春の長谷川陽子とのアンサンブルに続き、今回はソロで登場。バッハ「フランス組曲第5番」、シューマン「子供の情景」、サティ「ジムノペディ第1番」「あなたが欲しいの」「ピカデリー」に加え、昨年のリサイタルで好評のジャズの名ピアニスト、チック・コリアの作品「チルドレン・ソングス」を披露。

11月12日^(土) —15:00— エマ・ジョンソン クラリネット・リサイタル

ピアノ:ジュリアス・ドレイク

イギリスの若き女流クラリネット奏者。4年前の初来日で「きらめく才能に目まいがするような興奮」との評を得ました。今後のクラリネット界を担う逸材。ベートーヴェン「ドン・ジョヴァンニの主題による変奏曲」、ブラームス「ソナタ第2番」、バーンスタイン「ソナタ」、ストラヴィンスキー「3つの小品」、プリス「パストラル」、バッシ「リゴレットの主題による幻想曲」とプログラムも多彩。

12月2日^(金) —15:00— 工藤 重典(フルート) ジョイント・リサイタル
吉野 直子(ハーブ)

片やフランスを本拠に世界各地で独奏に室内楽に大活躍のフルート、片や世界各地のオーケストラから独奏者に引っぱりだこの若きスターのハーブ。この2つの楽器のアンサンブルは、文字どおり「絢爛豪華」。バッハ「ソナタ BWV・1031」、オネゲル「雌山羊の踊り」、ドビュッシー「パンの笛」「月の光」、タマーズ「ソナタ」、シュポーア「変奏曲」、フォーレ「幻想曲」、ロッシニ「アンダンテと変奏曲」、ドップラー「カジルダ幻想曲」ともりだくさんのプログラム。

12月14日^(水) —16:30— マルセ太郎のロードショー

スクリーンのない映画館。たった一人で、1本の映画の最初から最後までを徹底的に語り尽くす。マルセ太郎は、映画再現芸というまったく新しいジャンルを開拓し、独自の世界を作り上げています。その語り芸のすこみと、おかしさと、哀しさは、ときに文学や映像の感動を超えるものがあります。今回、演じるのは「泥の河」。昭和31年の大阪の下町を舞台に、モノクロ画面で子供たちの目にうつる高度成長期以前の日本人を描き、映画公開時も話題になりました。マルセ太郎ロードショーの中でも傑作の一つです。

お申し込み方法…………… 入場無料。希望者は、往復ハガキ(1枚につき1公演)に公演名と住所、氏名、参加希望人数をお書きのうえ、お申し込みください。1枚のハガキで2名様まで入場できます。小学生は、氏名と学年を明記してください。(幼児および明記のない小学生は入場できません)

お申し込み
お問い合わせ先

締め切りは各公演日の2週間前になります。なお、希望者多数の場合は、抽選とします。
〒651-21 神戸市西区伊川谷町有瀬518 神戸学院大学 グリーンフェスティバル係
電話 078-974-1551(代表)

会場 / 神戸学院大学メモリアルホール(9号館)

主催 / 神戸学院大学

後援 / 財団法人 神戸市民文化振興財団